

燕第二地区まちづくり協議会広報

ふれあい

新年によせて



燕第一地区まちづくり協議会

会長 野澤 豊



あけましておめでとうございます。

地域の皆様方には第一まちづくり協議会活動に平素よりご協力を頂き、誠に有難う御座います。

昨年燕市では大きな災害もなくありがたいと思っておりますが、全国的には数多くの台風が上陸し想定外の強風、一ヶ月分の雨が一日に降るという豪雨に見舞われ、百年に一度の災害が毎年起こつても不思議ではない世の中になりつつあります。

まちづくり協議会では、合同防災訓練を毎年実施しております、昨年で八回となりました。ありがとうございます事に毎回大勢の皆様からご参加いただいております。

昨年十二月上旬にNHK(パラレル東京)では四日間に渡り、今後三十年の間に70%の確率で起こり得る東京直下型大地震を想定した番組を放送しました。死者三十二万人、南海トラフと成りますと被害者五、九〇〇万人に及ぶと推定され、高さ最大26～33mビル10階に届く津波も予想されます。

巨大地震から命を守る為何をすべきか考え方が来ているような気がします。

恒例となりました合同防災訓練は本年も予定しております。大勢の地域の皆様のご参加をお願いします。

又、まちづくり協議会では、男女を問わず、若い方から関心のある方を募集しております。一緒に住みよいまちづくりの為の活動をしませんか？

今年も良い年でありますように願っております。

第8回 合同防災訓練を実施!!

令和元年10月27日(日) 防犯組合・自治会・まちづくり協議会
主催の合同防災訓練を開催しました

350名参加

令和最初の合同防災訓練は、前日からの雨が降りやまず、燕南小学校体育館での開催となりました。

合同防災訓練直前に起きた、台風19号により多くの尊い命が奪われました。災害で亡くなられた皆さんの冥福を祈るため黙祷を行い、その後燕消防署員の指導の下、各自治会より多くの参加者が各種訓練を行いました。

訓練内容はAEDによる心肺蘇生訓練、簡易担架(毛布担架)による傷病者搬送訓練、水消火器による訓練等、毎年同じような内容ですが、いつ訪れるか分からない災害に備え繰り返して実施することが大切です。

食生活改善推進委員・民生委員の皆さんによる炊き出し訓練で作ったおにぎり、豚汁を参加者全員でおいしくいただきました。

今回の訓練実施に当たり、ご協力いただいた各種団体をはじめ参加された地域の皆さんに厚くお礼申し上げます。

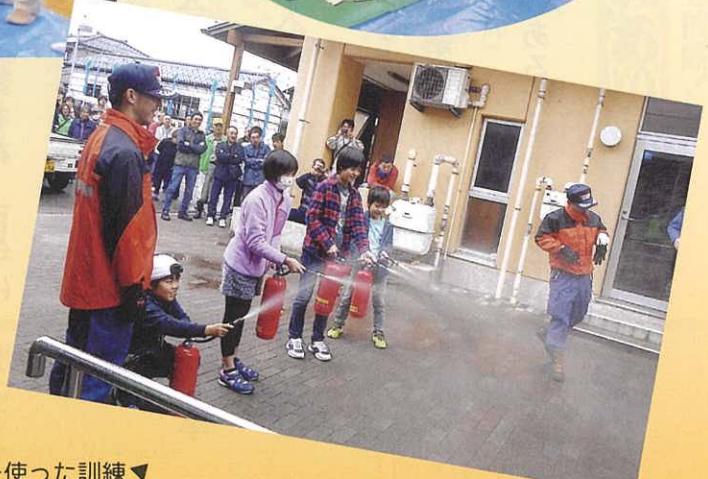
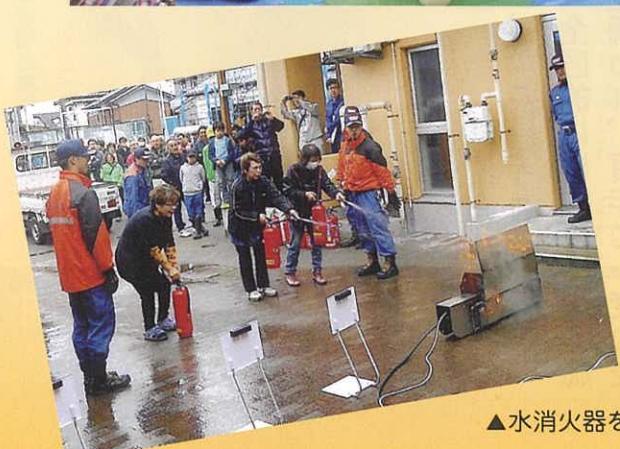
事務局長 堀 越 基



▼炊き出し訓練



▲AEDによる訓練



▲水消火器を使った訓練▼

柳津地熱発電所・田子倉ダム・研修視察見学会を実施

日本列島に甚大な被害をもたらした台風19号の影響を考慮して、十月十二日の予定を延期、十一月二日(土)に実施しました。

八月に事務局長と一緒に現地の下見をして、皆さんへ案内を出し、参加者を受け付けました。今回は延期になってしまいましたが、45名の方が参加して下さいました。

燕市吉田米納津ウエスト観光のバスで、スポーツパークを8時30分出発挨拶後、相談役の井島さんより色々な説明がありました。

最初の見学地は円蔵寺。一三〇〇年の歴史ある日本三大虚空藏の一つ。又、赤べこの発祥の地。地元グルメはあわまんじゅう。

次は、防災啓発事業の目的地、地熱発電所。地中マグマで高温になった200℃～350℃の熱水を井戸から汲み出し、その熱水から取り出した蒸気でタービンを回し、発電しているそうです。国産自然エネルギーの仕組み、大変勉強になりました。

次は、河合継之助記念館。長岡藩家老、幕末の官軍との戦いで負傷し、八十里越を越えたものの、傷が悪化し息を引き取った。生涯(42歳)のことが展示してあり、ガイドさんの話を皆さん真剣に聞いていました。

最後は、田子倉ダム。全国屈指の規模を持つ重力式コンクリートダム。今回の台風でダム問題がありました
が、水力発電の必要性は皆さんも知っていると思います。

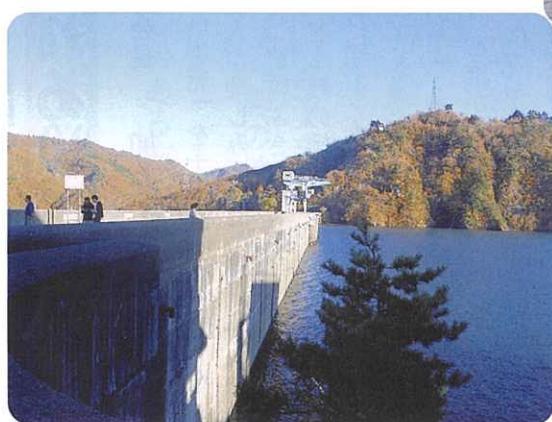
今回は全員で、道の駅でアザキ大根高遠そばとソースカツ丼のセットを食べ、各自お土産を買つたり旧五十島家(県重要文化財)を見学したりしました。

今回の見学会で私自身、地熱発電は安定した自然エネルギー、風力・太陽発電は気候に左右されやすい為、安定度に欠けるのではないかと理解しました。

今回、参加して下さいました皆さん、本当に疲れ様でした。何事も無く無事に18時45分スポーツパークに到着しました。

バスの運転手の加茂さん、一日本当にありがとうございました。

安全部会長 石川 勇



「笹団子作り」

生活部会 土田陽子



▲集中しているネ～

▶おいしい!!

▲みんなで楽しく!!

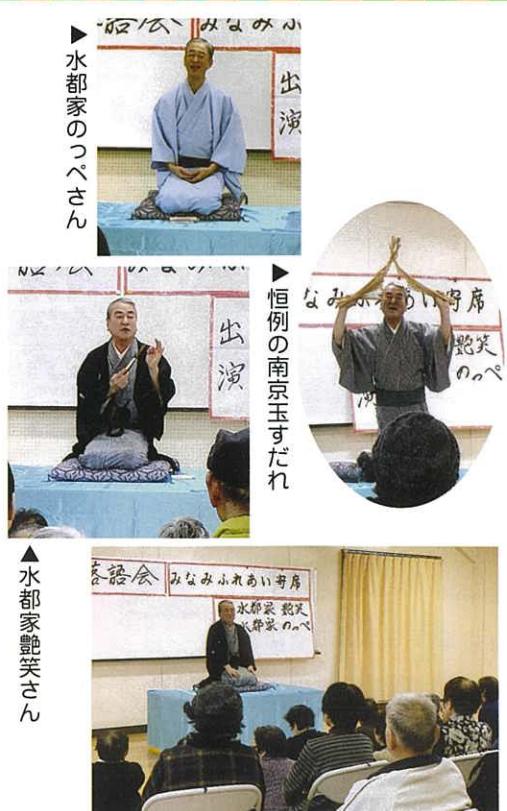


▲みんなでハイ!!ポーズ

十一月六日(水) 10時～13時まで、南公民館にて、毎年恒例の「食育講座」「笹団子作り」を開催しました。参加者16名が燕市の食生活改善推進委員さんからご指導頂き、新潟の味「笹団子」を作りました。子育て中の方をはじめ、様々な世代の方が参加されました。

笹団子を作るのは初めて、という方、昔を思い出しながら作る方、試食タイムには、と和気あいあいと交流を深めながらの時間となりました。出来上がり試食でも美味しい！自分で作ったのが嬉しい！という歓声があちこちから聞こえました。

笹団子を作るのは初めて、という方、昔を思い出しながら作る方、試食タイムには、と和気あいあいと交流を深めながらの時間となりました。出来上がり試食でも美味しい！自分で作ったのが嬉しい！という歓声があちこちから聞こえました。



▲水都家艶笑さん

▶水都家のつべさん

出演

▶恒例の南京玉すだれ

出演

▲水都家艶笑さん

恒例になりました「みなみふれあい寄席」を十一月一日(日)、午後二時から南公民館で開催し、51人が楽しみました。出演者・演題は水都家艶笑さんが「買物ぶぎ」と「親子酒」、水都家のつべさんが「読書の時間」と「終の棲家」でした。

この日の落語では、レストランでカレーライスを注文すると、店員が『カレーになります』と持つてくる、『カレーになるつて？それじゃあ、今まで何だったの？』。薬局で「おいしい猫缶」と書いてある、『でも、おいしいと誰が言つたの？猫？それとも人間？』などなど、ユーモアたっぷりの口調で聴衆を笑わせました。「南京玉すだれ」も最後に披露していただき、大熱演の二時間でした。艶笑さんは文化庁主催の「国民文化祭広島二〇〇〇年全国落語競演会」で優勝し、文部大臣奨励賞を受賞されています。

「みなみふれあい寄席」は今回で10回目になりました。これからも続けていきたいと思いますので、多くの皆様のご来場をお願いします。

大熱演に笑い、「南京玉すだれ」も披露!
落語会「みなみふれあい寄席」

生活部会長 加藤壽一郎

恒例になりました「みなみふれあい寄席」を十一月一日(日)、午後二時から南公民館で開催し、51人が楽しみました。出演者・演題は水都家艶笑さんが「買物ぶぎ」と「親子酒」、水都家のつべさんが「読書の時間」と「終の棲家」でした。

この日の落語では、レストランでカレーライスを注文すると、店員が『カレーになります』と持つてくる、『カレーになるつて？それじゃあ、今まで何だったの？』。薬局で「おいしい猫缶」と書いてある、『でも、おいしいと誰が言つたの？猫？それとも人間？』などなど、ユーモアたっぷりの口調で聴衆を笑わせました。「南京玉すだれ」も最後に披露していただき、大熱演の二時間でした。艶笑さんは文化庁主催の「国民文化祭広島二〇〇〇年全国落語競演会」で優勝し、文部大臣奨励賞を受賞されています。

「みなみふれあい寄席」は今回で10回目になりました。これからも続けていきたいと思いますので、多くの皆様のご来場をお願いします。

求む!! 部員・ご意見・情報

燕市南公民館

燕市南6丁目1の1
電話 64-2940

発行責任者

野澤 豊

燕市南7丁目14-2

電話 (0256) 63-6750

編集 飯野

明けましておめでとうございます

皆様にとって幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます